

## 米空軍戦闘機千歳基地訓練移転反対全道集会の開催

今回で9回目となる米空軍戦闘機の訓練移転が、4月23日から27日までの間、千歳基地において実施されることを受け、連合北海道は4月21日、千歳市において、「米空軍戦闘機千歳基地訓練移転反対全道集会」を約200名の参加のもと開催した。

主催者を代表して挨拶にたった連合北海道荒木敏安副事務局長は「日米地位協定の抜本の見直しと米軍基地の整理・縮小が大前提であるにも関わらず、このことが一向に進展がない。これらが実行に移されて初めて沖縄の痛みを分かち合うことにつながる。『継続は力なり』決してあきらめることなく今後もこの訓練の白紙撤回を求めていく。」と訴え、決意を述べた。

引き続き連帯挨拶にたった北海道平和運動フォーラム長田秀樹代表は「この訓練は在日米軍基地の負担軽減でとい



うことで行われているが、全く地元自治体の負担軽減になっていないばかりか、拡大している現状にある。こうした軍事訓練を断固として許さず、反対の声を上げ続け、共に頑張っていこう。」と参加者に呼びかけた。

苫小牧地区連合佐々木修司会長による集会決議が採択されたのち、石狩地協太田聡会長の訓練移転に怒りを持って抗するとした団結ガンバローで集会を締めくくった。

終了後、参加者は市内をデモ行進し、訓練移転反対や、米軍基地を整理・縮小せよなど、市民にアピールし理解を求めた。

